

第2回 丸森地区河川防災ステーション利活用検討委員会

1) 開催日時

令和4年11月22日(火)

10:00~11:15

2) 開催場所

丸森町役場 第1委員会室



3) 出席者

団体名	所属等	氏名	備考
東北大学	教養教育院 総長特命教授	田中 仁	委員長
東北大学	災害科学国際研究所 准教授	平野 勝也	
東北大学	災害科学国際研究所 准教授	柴山 明寛	
国土交通省東北地方整備局	仙台河川国道事務所副所長	平舘 淳一	
国土交通省東北地方整備局	宮城南部復興事務所副所長	斎藤 巧	
宮城県	大河原土木事務所副所長	高野 晃	
丸森町観光物産振興公社	理事長	横山 博昭	欠席
丸森町商工会	会長	白木 寛一	
丸森町消防団	団長	佐野 昭一	
丸森地区協議会	会長	岡崎 俊範	
丸森町役場	副町長	佐々木 秀之	副委員長
〃	総務課長	大内 一郎	
〃	企画財政課長	長門 修	
〃	復興対策室長	佐藤 徳和	
〃	建設課長	八巻 一浩	
〃	農林課長	引地 誠	
〃	商工観光課長	宍戸 光晴	

4) 議事次第

1 開 会

2 あいさつ

3 検討事項

(1) 検討部会の開催経過について

(2) 丸森地区河川防災ステーション利活用方針について

(3) 検討委員会への要望事項について

(4) その他

5 閉 会

5) 配布資料

- ・ 次第
- ・ 資料-1 名簿
- ・ 資料-2 配席図
- ・ 資料-3 第2回丸森地区河川防災ステーション利活用検討委員会 説明資料
- ・ 資料-4 (仮称)川の駅(水防センター+観光交流センター)「健康とアウトドア」をテーマとしたブロックプラン
- ・ 河川防災ステーションにおける資材備蓄の事例

6) 協議結果

(1) 検討部会の開催経過について

事務局から検討部会の開催経過を報告。

(2) 丸森地区河川防災ステーション利活用方針について

河川防災ステーションを起点とした周遊について

(主な意見)

- ・ 河川防災ステーションから町内ほか周辺の拠点への流れをつくるため、自転車の活用を検討したい。
- ・ 内川等の支川の堤防天端拡幅と遊砂地の整備に併せ、河川防災ステーションと遊砂地を巡りサイクリングルートを設定したい。防災教育となるし、健康とアウトドアという利活用のキーワードにも一致する。
- ・ フットパス・トレイルの来訪スポットとして、町のシンボルとして再整備している丸松(直径200mの円状に植林された箇所)や土木学会の選奨土木遺産に指定された丸森橋をPRしたい。

水防センターの整備について

(主な意見)

- ・ 防災井戸を設置し、その重要性について発信することは非常に良い。
- ・ 展示ホール(防災学習室)を2Fに設ける場合、先行事例を参考に来訪者の案内等を工夫する必要がある。
- ・ 発電機と燃料タンクの設置が計画されているが、平常時の維持管理が負担となることから、災害時に必要となる機能・規模と併せて再度検討してほしい。

- ・周辺での活動（例えば林業に係る活動など）の、活動前の集合場所、駐車場、会議室の利用についても想定している。

（３）検討委員会への要望事項について

河川防災ステーションの整備について

（主な意見）

- ・観光交流施設としての平常時利活用のため、樹木で備蓄資材を目隠ししたい。フェンスを設置する場合は、そのデザイン性に留意する必要がある。
- ・備蓄土砂を地中埋設としている箇所について、子どもの遊び場となるように起伏をつけた仕上げとしたい。

（４）その他

対岸高水敷の樹木伐採について

（主な意見）

- ・対岸高水敷の樹木伐採については、堤内民地で耕作している方に事前に情報共有をする必要がある。
- ・対岸高水敷について、アクセス坂路の設置やドローンフィールドとしての利活用を検討したい。

今後の予定

- ・12月に利活用部会で先進事例（名取市のかわまちてらす閑上、石巻市のいしのまき元気いちば）の視察を予定している。
- ・本検討委員会と今後の利活用部会での検討結果について、住民説明会を予定している。
- ・次回検討委員会は3月に開催し、今後の部会における詳細検討と住民説明会の結果を踏まえ、今年度の利活用検討内容について承認いただくことを予定している。

以上